

市民とあゆむ

議会のひろば

おかや市議会だより Okaya City Assembly News
2024年（令和6年）7月25日発行

No.36 / 2024 Jul.

巻頭特集

東伊豆町との議員交流研修会

（P.2）（P.3）

見聞き特集

スニフエストスイッチをのぞいてみよう！

（P.8）（P.9）

表紙写真：横内靖英さん撮影（市内在住カメラマン）

特集

東伊豆町との議員交流研修会

去る5月8日、9日の2日間にわたり、姉妹都市である静岡県東伊豆町議会の皆さまをお招きして、岡谷市議会との議員交流研修会を行いました。

岡谷市と東伊豆町とは、民間交流が契機となり、昭和60年に姉妹都市提携を締結しました。議員交流は、平成元年から平成16年まで行われ、その後休止期間がありました。平成28年に再開し、前回平成30年5月からコロナ禍を経て、6年ぶりの来岡となりました。

8日は、市役所において小松副議長から岡谷市と岡谷市議会の概況についての説明のあと意見交換を行いました。

その後、ちようど見ごろを迎えた鶴峯公園のつづじをまちなか観光案内人の皆さんの案内により全議員で視察しました。引き続き、近代化産業遺産のまゆ蔵をご覧いただきました。

翌日、町議会議員の皆さんは、シルクファクトおみやと市内酒造工場を視察され、お昼は岡谷名物のうなぎを食べられ、諏訪湖畔のサイクリングロードをご覧いただき、帰路につかれました。

今回の議員交流研修会により、両市町のまちづくりや議会の現状と課題について意見交換を行い、議員間の友好と親睦を深める大変有意義な機会となりました。



議場での撮影(市議会議員18名、町議会議員12名)



東伊豆町議会
笠井政明議長

研修会の主な内容

岡谷市議会の取り組みとして、議会報告会の開催、議員の採決態度の公表、市議会だよりの発行、政務活動費の内訳書や、会派活動報告書のホームページへの公表・掲載、ICTの推進などに取り組んできていること、また、委員会のオンライン開催のための条例等の改正や議員の長期欠席に伴う報酬減額についても取り組んできたことについて情報共有しました。

次に、議会改革の現在の取り組みについて、主な内容を紹介しました。以下は、その内容となります。

各議員から検討項目を検討する中で、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年行っている「議会改革度調査」の分野別の取りまとめ区分である、「情報共有」「住民参画」「機能強化」に分けて整理をしながら、議会改革を進めていること、具体的には、「情報共有」分野では、SNSを活用した広報活動の強化、広聴機能の充実、市民と議会とのアクセス手段などの充実などに向けた取り組みを検討していること。

「住民参画」分野では、市民参加型の意見交換会や議会報告会の充実、小中学生等に対する啓発活動の実施など。「機能強化」分野では、議会運営等の専門家の設置等の体制の整備による機能強化、一般質問における完全問一答方式の実施に向けた検討などの取り組みについて研修しました。



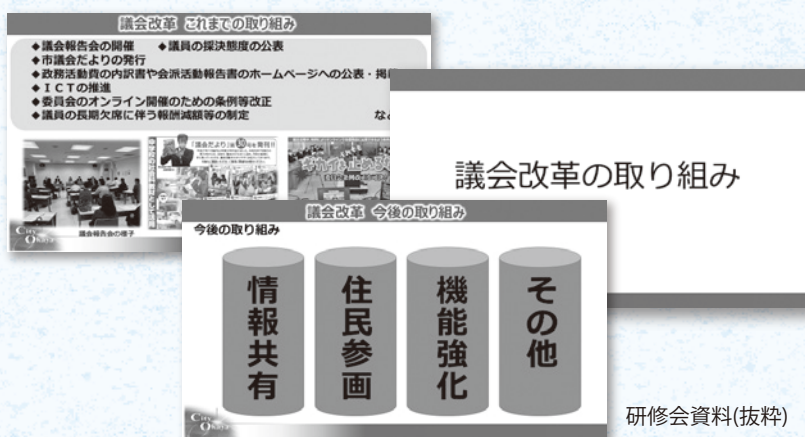
岡谷市議会
今井康善議長



研修会の様子

町議会議員からは、マニフェストス
イッチの活用と議員のなり手不足に
ついての質問がされたほか、意見交
換を行い、互いに大変有意義な研修
になりました。

議会改革の取り組み



【豆知識】
市では昭和47年に群馬県富岡市と、
昭和55年に岡山県玉野市と姉妹都市
締結が行われています。また、アメリ
カ合衆国ミシガン州マウントプレザ
ント市との締結があります。

鶴峰公園などの視察

ちようど見ごろを迎えた鶴峰公
園のつつじが出迎えてくれました。
遠くまで広がる鮮やかな色彩に参
加者の多くが感嘆の声を上げてい
ました。

また、まちなか観光案内人の方々
にお世話になり、鶴峰公園やシルク
岡谷の歴史に触れました。同行した
市議会議員も改めて岡谷の魅力と
歴史、資源のすばらしさを再認識し
ました。



みどとなつつじに囲まれ記念写真



説明に聞き入る町議員の皆さん



まちなか観光案内人の方から説明

【豆知識】まちなか観光案内人とは
諏訪湖エリアまちなか観光案内人
は諏訪湖周3市町の商工会議所養
成講座の修了生で構成された市民
観光ガイドです。

シルクファクトおかやでは、高林
館長に岡谷シルクの歴史をお話し
いただきました。現在のものづくり
のまちへのつながりが、シルク岡谷
から脈々と紡がれてきていること
を感じることができました。



シルクファクトおかやを視察



まゆ蔵活用プロジェクトについて視察



市内酒造工場の視察



ズバリ! 市政に問う!

令和6年
第3回定例会(6月)

ダイジェスト版

質 問	議員名	ページ
来年度から始まるプラスチック資源回収の周知方法は?	田村 みどり	4
蚕糸公園の伐採後の木材の処理と再利用は?	土橋 学	5
県が空飛ぶクルマなどに取り組む「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」の目的等は?	渡辺 太郎	5
シルキーバスの改善で、今年度の予定は?	宇野 香二	6
温暖化防止の取り組みと今後について、市の考えは?	上田 澄子	6
特別な支援が必要な子どもたちへの支援体制は?	丸山 善行	7
市教育委員会、学校、フリースクールの情報共有や連携の考え方は?	今井 浩一	7
民間から河川空間のオープン化への問い合わせは?	山崎 仁	10
広島平和体験研修に参加された生徒の声は?	早出 すみ子	10
西堀新道及び周辺市道など生活道路の安全対策は?	花岡 健一郎	11
小中学校の健康診断の目的は?	酒井 和彦	11
病院事業会計未処理欠損金約20億円の処理方針について	藤森 弘	12
市長の任期は4年、この間に給食費無料化を	笠原 征三郎	12
諏訪湖と諏訪湖周の活用	中島 秀明	13
本年度より開始される平和体験事業で「満蒙開拓平和記念館」を選んだ想いや経緯は?	秋山 良治	13
岡谷市における熱中症被害への主な対策は?	吉田 浩	14

一般質問

●議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。

年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は、“くじ”で決めています。

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

▶ 岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



Q その他プラスチック資源の回収方法が変更される理由と内容は?

A プラスチック資源の循環促進を目的として、令和4年に施行されたプラスチック資源循環促進法により、これまで燃やすごみとして排出していた「製品プラスチック」をリサイクルすることが可能になった。更なるごみの減量と持続可能な社会の実現に向け、令和7年4月から市内全域で実施する。

Q 諏訪湖のごみの現状

Q 天竜川の出発点である諏訪湖でのマイクロプラスチックの状況は?

A 諏訪湖においても、湖岸に多数の微細なプラスチック片が漂着していることから、以前よりマイクロプラスチックの存在が危惧されていた。令和2年度に長野県環境保全研究所が行った調査により、公式にマイクロプラスチックの存



田村みどり



Q 来年度から始まるプラスチック資源回収の周知方法は?

A 令和7年度の市内全域での回収実施にあたり、9月頃から市内全区の公会所などを会場として、住民説明会や出前講座などの実施とともにシルキーチャンネルや市のホームページなどで周知する。

在が確認された。

「家族にもやさしい職場づくりでU・I・ターン強化事業」

Q 今年度、この事業をスタートさせた理由は?

A 市内企業の人材確保をするためには、企業の個性や強みをさらに伸ばすことで他地域の企業より優位性を持つことが必要不可欠。働く人とその家族にもやさしい職場環境を備えた企業であることは、就職先を最終的に決定する上での重要な判断材料になることから。

市内の山林に出没する熊

Q 熊を山に戻す(放獣)の理由は?

A 鳥獣保護管理法に基づき、二ホンジカなどを捕獲するために設置している「くくりわな」などにかかってしまった場合は、熊の捕獲に必要な許可がないため放獣が原則である。



熊「クマ」の生態、正しく知って身を守る!!

Q 蚕糸公園の伐採後の木材の処理と再利用は？

A 高木は用材、中低木は他公園に移植。枝や細い幹はチップ材として利用。今後、伐採木を用いた「蚕糸公園の沿革」の設置を検討する。



土橋 学



Q 蚕糸公園でのゴジラ関連建造物の設置提案やロケ地紹介の看板設置についての見解は？

A 現時点でゴジラ関連建造物の設置計画はないが、今後のPRとして参考にする。

諏訪湖環境研究センターの活用

Q 研究センターの設置目的や機能、連携については？

A 水質と生態系の調査・研究を行い、水環境保全の情報発信拠点。ヒシ除去や環境学習などを推進し、センターと連携してビジョンの実現を目指す。市内小中学校やエコクラブなどの学習の場としても活用する。

岡谷市民病院について

Q 待ち時間の差、具合が悪くなった場合の対応、移乗介助、病気の説明と接遇研修は？

A 紹介状のある患者は予約です



木陰

ムーズに受診できるが、ない場合は待ち時間が長くなる。医師確保やデジタルサイネージで改善。具合悪化時は看護師が対応し、休める体制を整備。移乗介助はコンシェルジュと看護師が協力して対応。病状説明時は看護師が同席。接遇研修は毎年実施し、患者の意見を共有。

Q DPCデータ分析システム「ヒラソル」の活用方法と分析データの共有状況は？

A ヒラソルはレセプトデータのエラーチェックや重症度医療看護必要度の項目チェック、収益・費用分析、クリニカルパス作成時の他病院比較に活用。分析データは管理委員会や運営委員会で共有し、経営に関する情報を整理し職員間で共有している。

Q 県が空飛ぶクルマなどに取り組み「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」の目的等は？

A ドローンや空飛ぶクルマ等の「次世代空モビリティ」を社会実装し、「空の産業革命」「空の移動革命」の早期実現を目的に設置された。岡谷市は設立当初から参加している。



渡辺 太郎



Q ものづくりのまちとして今後、どう取り組んでいくのか？

A 新たな市場、産業の創出を期待している。国・県等からの有益な情報をいち早く市内企業に共有し、新分野や成長産業に係る新たなチャレンジを支援していく。

岡谷市自殺対策の現状と支援

Q 令和5年の自殺者の状況は？

A 自殺者は11人で男性10人、女性1人。自殺死亡率は23・1%。

Q 生きることの促進要因として芸術文化を活用する考えは？

A カノラホールや蚕糸博物館、イルフ童画館等芸術文化の関連施設が多数ある。芸術文化を活用することは大変有効と考えている。

Q 中年期に感じる心理的な不安や葛藤を指すミッドライフ・クライシスの現状と対策は？

A ミッドライフ・クライシスは様々な精神疾患のきっかけになりやすく、自殺要因の1つとして注視していく必要がある。健康増進計画の取り組みが対策につながる

と考え、健康づくりに関する情報等の周知啓発に努める。

Q 子どもへの支援として1人1台端末を活用する考えは？

A 昨年度から1人1台端末を活用し、気軽にSOSを発信し相談できる取り組みを始めている。今年度中に全校で活用していきたい。

諏訪湖サイクリングロード

Q 通行区分の明確化やグレーチングの安全対策、トイレ等の整備は？

A 自転車専用道路標識や自転車マークと通行方向を示す矢印マークの路面標示等を行った。グレーチングは現場の状況を踏まえ安全対策を検討する。スワレイクサイドオアシスの湊湖畔公園は、県が設計作業中で完成時期は未定。



武井武雄作「あるき太郎」
1972年より
©岡谷市／イルフ童画館

Q シルキーバスの改善で、今年度の予定は？

A 今井長地線、長地今井線の朝夕便で、岡谷駅正面口発着にするための時刻改正、川岸橋原線を駒沢公民館まで延伸し、延伸部分は事前予約制の実証運行を予定している。



宇野 香二



Q 福祉タクシーは予約が出来ないとの声があるが実際の状況は？

A 時間帯により配車台数を上回る予約が入り、予約が取れないケースがある。時間帯ごとの利用状況を分析し、適切な配車計画となるようにしていきたい。

高齢者福祉の充実について

Q 難聴対策の補聴器購入の助成を、六十五歳以上の住民税非課税世帯を対象にスタートするのは？

A 国や県の制度による公的補助、医療保険の対象化が必要。国や県の動向を踏まえ、他市町村との情報共有を図っていきたい。

Q 帯状疱疹ワクチンの問い合わせがあった時の案内は？

A 個人の判断で接種する任意接種であり、医療機関にご自身で連絡するように案内している。

Q 帯状疱疹ワクチンの助成は、周知する事にも繋がりその効果は大きいと思うが、市の考えは？

A 県が定期接種化を要望するともに検討をしており、今後の国や県の動向を注視していきたい。

公共施設の統廃合について

Q ラオカヤの解体を含む駅周辺整備について、市政懇談会以外に市民の声を聞く機会があるか？

A 市民アンケートや、市のホームページに投稿サイトを開設したい。市民が集う場所に伺い、直接市民の想いを聞いていきたい。

Q 今までの経緯等を市民に周知する必要があると考えるが、予定している取り組みはあるか？

A 広報おかわり七月号に「みんなで考えよう岡谷駅前周辺のまちづくり」の特集記事を掲載したり、市ホームページへも進捗状況などを随時掲載していく予定。



帯状疱疹ワクチンの周知を

Q 温暖化防止の取り組みと今後について、市の考えは？

A 令和4年に「2050年岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」を発出し取り組んできている。令和6年度は、これまでの取り組みの継続と、令和7年度以降の具体的で実効性のある目標や施策等を定めていく。



上田 澄子



Q 市の二酸化炭素排出量削減の達成状況は？

A 今年発表の令和3年度については、平成25年度比マイナス25・9%で、令和6年度での短期目標36・4%達成は難しい状況。

Q 温暖化防止のため再生可能エネルギー転換への政策は？

A 再エネの普及促進は欠かせない。再エネの導入を重点施策として必要な支援を検討していく。

暑さ対策における

冷房器具購入補助について

Q 市の熱中症での救急搬送数は？

A このところ年々増加しており70歳以上の高齢者の割合が高い。

Q 低所得者や高齢者世帯の冷房器具設置の状況は？

A 市では調査していない。北陸・甲信越地域の二人以上世帯の保有率は87・1%だが、この地域は

もっと少ないと考えている。

Q 低所得者や高齢者のみの世帯への冷房器具設置への補助は？

A 現時点では購入補助は考えていない。県の助成や生活保護世帯への購入費支給など活用できるものを周知していく。

Q 避難所になることもある学校体育館への冷房器具設置状況は？

A 現在学校体育館への冷房器具設置はない。体育や部活では事故のないよう窓を開ける等して対応している。

令和6年能登半島地震の教訓から岡谷市の震災対策強化について

Q 地震を受けて岡谷市での震災に対する政策の強化は？

A 岡谷市防災・減災基本条例のさらなる推進を図ることの重要性を再認識している。国や県、警察署、消防署等と連携を深め安全安心なまちづくりに取り組んで行く。



猛暑にはクーラーが必要

Q 特別な支援が必要な子どもたちへの支援体制は？

A ライフステージに応じて、関係部署、関係機関で情報共有を図りながら、きめ細かな対応に心がけており、早期発見、早期支援に努めている。



丸山 善行



Q 特別な支援が必要な子どもへの特別支援教育の現状は？

A 特別支援学級は少人数（上限8人）で編成し、知的障害と自閉症及び情緒障害のクラスに分かれ、各学級に担任を配置し、特に支援を厚くする必要のある児童生徒に対しては、市の特別支援教育支援員を加配し、個別に指導できる学習環境を整えている。

Q 小中学校の発達障がい児の放課後等デイサービスの利用状況は？

A 4月末現在市内の3事業所に通う特別支援学校を含む小中学校に通っている学生は74名で市内の小中学校に通っている子どもは51名、発達障がいのある子どもは45名。

おかしエアオフィスの現状

Q 利用開始から1年。状況は？

A 5月31日現在個別ブースタイプが7者、オフィスタイプが2者、

地域別では岡谷市延べ5者、諏訪市1者、東御市1者、長野市1者、神奈川県茅ヶ崎市1者、兵庫県姫路市1者、熊本県熊本市1者。

Q 運営する上での課題は？

A 入居者同士の交流や市内企業との協働の機会創出の提供や、利用者の事業の妨げとならないような、適切な使用時間の設定が課題。

特殊詐欺被害の現状

Q 市内の特殊詐欺被害の状況は？

A 令和3年中は認知件数7件、令和4年中は認知件数7件、令和5年中は認知件数7件。近年はSNS型投資詐欺やロマンス詐欺等インターネットを通じ金銭をだまし取る詐欺が増加傾向。

Q 様々な特殊詐欺に市民が遭わないための対策は？

A 岡谷警察署や関係機関、団体と連携し、常時留守番電話設定の推奨、広報やチラシ等による啓発活動を行う。



詐欺に用心!

Q 市教育委員会、学校、フリースクールの情報共有や連携の考え方は？

A 市内小中学校に在籍する不登校児童生徒が通うフリースクール等民間施設と市教育委員会や学校との情報共有は重要。今後も連携を図りながら一人ひとりに寄り添った支援をしていく。



今井 浩一



Q 信州型フリースクール認証制度について

A 多様な学習機会の観点から、子どもの受け皿となっているフリースクールに対する県独自の支援策。県の認証制度によって、不登校児童生徒の多様な学びの場、居場所の確保に資するものと期待している。

Q 諏訪6市町村の連携について

A 諏訪圏域のフリースクール等の状況を6市町村で共有できるよう、本年度から連絡会議を設け、連携を強化した。フリースクール等の民間施設とも連携し、必要な情報を提供する冊子発行を予定している。

Q 岡谷市の不登校の現状と支援、取り組みについて

A 令和5年度の速報値は、小中学校合わせて120名、前年度の98名を

超えた。不登校児童生徒に対する市の支援は、全中学校の中間教室、諏訪湖ハイツのフレンドリー教室に支援員を配置し、学校に行けなくても中間的な空間で学習や相談のできる環境を整えている。教育総務課に家庭訪問などアウトリーチ型で支援を行う不登校支援コーディネーターを配置。県の委託事業である多様な学び支援コーディネーターは、小学校にも中間教室を拡大していくことが狙い。

Q 信州型オーブンドアスクール創造会議について

A 不登校の児童生徒に、学校以外で学びを保証する新たな受け皿となる特例校の設置促進等を議論するため、県が設置した会議。県と協力し多様な受け皿を確保し、不登校児童生徒が過ごしやすい場所学びを保障することのできる環境を充実させていく。



フリースクール

をのぞいてみよう!

※マニフェスト
(考え、政策)

市議会の役割は、市民からの負託にこたえ、市の予算や施策などを誠実に審査して、議論して議決することまた、市民の思いや考えを聴き市に届けることです。

私たち18名の議員は、それぞれ重点を置く分野や得意な分野も異なります。私たち議員が、その広報と広聴面の機能を生かし、市とともに、いわば「車の両輪」として、岡谷市の未来に関わっていきます。

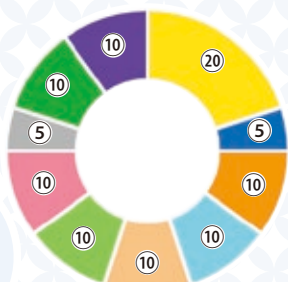
市議会では、今後もこれまで以上に広報や広聴活動にも力を入れて、まちづくりにかかわってまいります。

政策注力分野

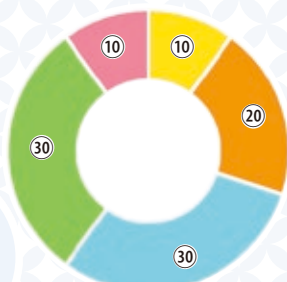


各議員の「政策注力分野」をご覧ください。

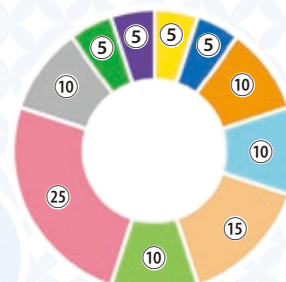
さらに具体的な考え、政策は、それぞれ下記の2次元バーコードからご覧いただけます。
市議会では、議会、(議員)の様々な取り組みや活動、またその情報の発信に積極的に取り組みます。



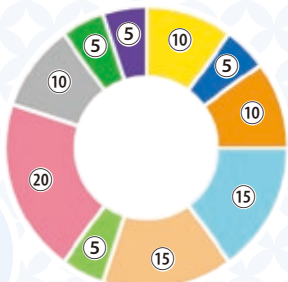
4. 花岡健一郎議員



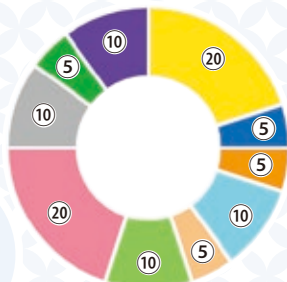
5. 山崎 仁議員



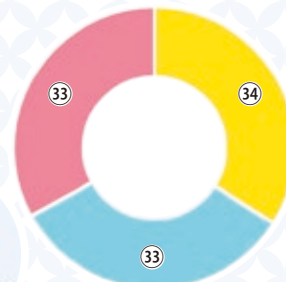
6. 小松 壮議員(副議長)



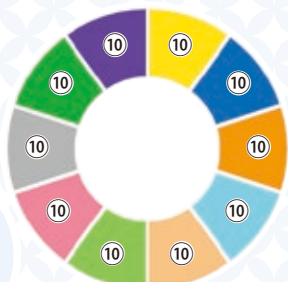
10. 酒井和彦議員



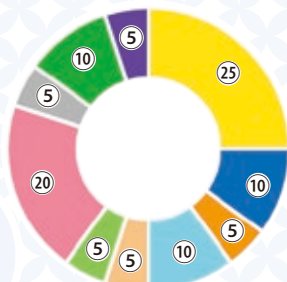
11. 上田澄子議員



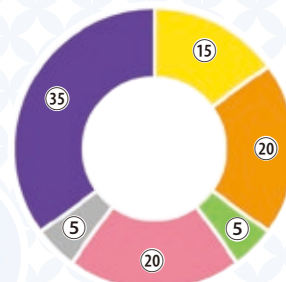
12. 早出すみ子議員



16. 中島秀明議員



17. 笠原征三郎議員

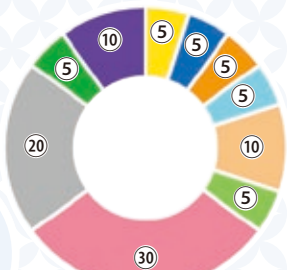


18. 丸山義行議員

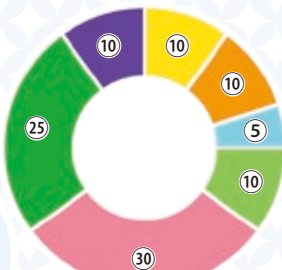
マニフェスト【わたしの公約】

岡谷市議員一般選挙は、令和5年4月16日の告示日において立候補者が定数(18名)を越えなかったため無投票となり、再選挙が行われました。無投票の場合、選挙広報が配付されず、当選した議員の思いや政策は市民の皆さんへ公表されません。自分たちの考えを知ってもらうため、岡谷市議会では、早稲田大学マニフェスト研究所のマニフェストスイッチを活用し、各議員の「政治家を志した理由」、「地域のありたい姿」、「解決したい課題」などを共通の形式で掲載しています。(市議会のHPに併設特設ページからご覧いただけます。(下記QRコード)

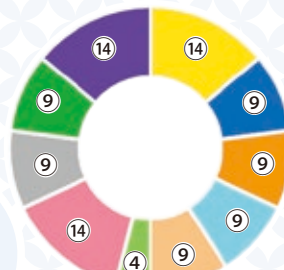
市民一人ひとり、世代やそれぞれの状況などにより、関心がある分野も違います。
「関心がある分野に重点を置いている議員はだれでしょうか」



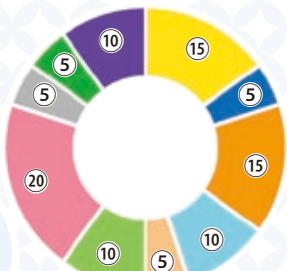
1. 今井康善議員(議長)



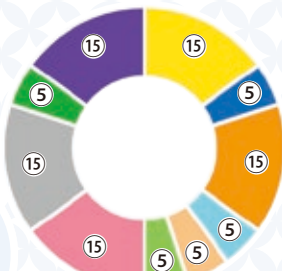
2. 秋山良治議員



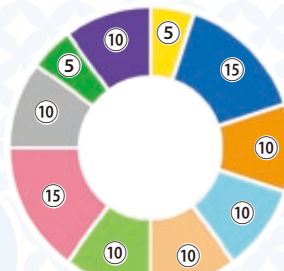
3. 土橋 学議員



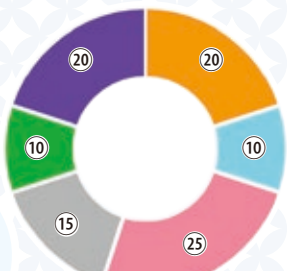
7. 藤森 弘議員



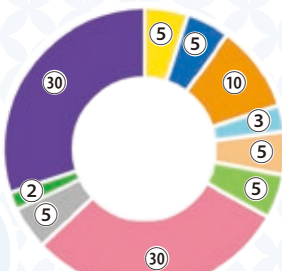
8. 宇野香二議員



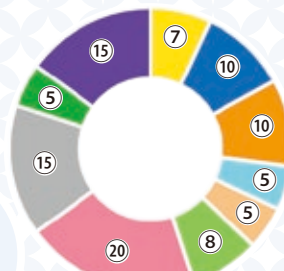
9. 田村みどり議員



13. 今井浩一議員



14. 渡辺太郎議員



15. 吉田 浩議員

Q 民間から河川空間のオープン化への問い合わせは？

A 4月からこれまでに2件の問い合わせがあった。内容は工作物の設置や概要・占用期間に関する事。



山崎 仁



Q サイクリングロード・ジョギングロードの完成に伴い、今年4月に諏訪湖の2部区域が河川空間のオープン化区域に指定され、岡谷市の現状は？

A 県が岡谷市と諏訪市の諏訪湖の一部区域を、県内で第1号として河川空間のオープン化区域に指定した。岡谷市の区域は釜口水門周辺の湖畔公園区域内。今までは地方公共団体に限られていたが、民間事業者が河川敷地を占用した営業活動が可能になった。

Q 使用する為の認可で河川空間のオープン化における課題は？

A 規制や制約が多いことが課題。営業許可期間や工作物の設置に制約があり、地元の同意、法的手続きにも多くの時間を要する。

Q もっと積極的に周知や募集をかけ、開業までをしっかりとサポートできる受け皿の強化もお願いす

るが、河川空間のオープン化に対する今後の考えは？

A 諏訪湖畔は、サイクリングロードやジョギングロードの利用者をはじめ、観光客などにより大きな賑わいを見せている。さらなる魅力向上や水辺空間を活かしたにぎわいの創出に向け、制度の周知に取り組む。

湖畔公園内の多目的広場の活用

Q 多目的広場の利用状況は？

A 親子連れのキャッチボール、風揚げ、占有利用では、サッカー、キッチンカーのイベントの駐車場、映画撮影、冬季は雪捨て場利用。

Q 児童公園や都市公園ではボールを使った遊びが禁止され、学校の校庭も気軽に使用できないが、多目的広場の使用で市民要望は？

A 過去には、湖畔スポーツ広場と同等なグラウンドに整備をとる要望があったが、現在はない状況。



親子でキャッチ!

Q 広島平和体験研修に参加された生徒の声は？

A 「悲惨な戦争の真実を多くの人に伝えることが一歩であり、広島
の記憶を語り継いでいきたい」「行動を起こす勇氣と自信が培わ
れた」「核兵器廃絶の活動は生涯かけてやっていきたい」



早出すみ子



Q 平和についての取り組みは？

A 中学2年生の広島平和体験研修がある。今年24年目でこれまで413名の生徒が参加した。研修後文化祭で平和の語り部として全校生徒に伝えている。今年度からは4名増やし、24名派遣する。小学6年生全員が満蒙開拓平和記念館で平和体験研修を行う。市は「平和首長会議」に加盟している。戦没者追悼式の開催や8月6日9日15日に黙とうのサイレンを放送している。

Q 平和都市推進の宣言は？

A 昭和59年に市議会が平和都市推進の宣言を行っている。一自治体としてできることを継続して取り組むことを大切に考えている。

Q 平和展の開催は？

A 他市町村の状況を確認する中で検討する。

訪問介護サービスの危機

Q 訪問介護報酬の引き下げの影響は？

A 市内事業所への聞き取りでは今後「悪化する」10件「継続困難」1件「変わらない」3件。物品や光熱水費などの高騰がプラスされて経営に影響している。処遇改善等加算は条件のハードルが高く、取得できない状況がある。

Q 介護職員の人手不足は？

A ハローワークや工業振興課雇用対策担当と連携している。「介護フェスタ」を開催している。

Q ガソリン代の支援は？

A 事業所と連絡を密にし、必要に応じて国や県に状況を伝える。

【要望】 諏訪広域連合と情報を共有して国に「介護報酬の引き下げを撤回し、引き上げに再改定を」要望してほしい。



千羽鶴にこめた
子どもたちの願い

Q 西堀新道及び周辺市道など生活道路の安全対策は？

A この区域を、ゾーン30区に指定。国から提供されたETC2.0などのビッグデータを活用して潜在的な危険箇所を特定し、グリーンベルトや、ポール、ハンプなどで安全対策を行った。



花岡健一郎



Q 地域の住民との調整や周知の状況は？

A 長野県、岡谷警察署、地元区、交通安全協会及びエリア内の小学校等の関係機関で構成する「生活道路安全対策連絡会議」で協議を行い実施。

会議は平成31年度からこれまでに8回開催。連絡会議では、地元区の代表や交通安全協会など、エリア内の交通安全状況に深い理解のある方々から出される地域の課題や区民の皆さんの意見等を踏まえ、整備内容等を決定。また、広報おかやの交通安全特集の中で、事業概要や整備内容の掲載をしており、今後も市民の皆さんへの周知に努める。

Q 地域の方々が様々なかたちで交通安全への取り組みもおこなっている中で、ゾーン区域内の交通事故件数の推移は？

A 岡谷警察署によると、令和5年

Q 有害鳥獣被害に対する農業者への補助制度は？

で人身事故20件、物損事故160件。令和6年6月までの件数は、人身5件、物損事故33件であり、昨年より約2割減。ある程度の効果がある。

A 市の農産物食害防止事業補助金や国の鳥獣被害防止総合対策交付金の2つの制度がある。市では電気柵等の設置の材料費を経費の2分の1以内で補助。国の交付金は、岡谷市有害鳥獣対策協議会を通じて、被害防止計画に基づく地域ぐるみの取り組みなどを支援。

Q 有害鳥獣被害に対する補助制度の周知や、指導の状況は？

A 農協への委託による地域の指導員を通じて農業者の指導のほか、各地域の農業組合などを通じて、引き続き補助制度の周知に努める。



安全運転を心がけよう！

Q 小中学校の健康診断の目的は？

A 児童生徒の健康の保持・増進、疾病の予防処置や治療の指示、運動や作業の軽減等の適切な措置をとること。



酒井 和彦



Q 健康診断によって虐待が見つかることもあるか？

A 歯科治療が進まないことから虐待を発見した事例もある。

Q 不登校児や外国人学校などに就学している子どもは？

A 不登校の場合は家庭に保険調査票を配布して状態を把握。健康診断の日に登校できない場合は学校医等の個別の医療機関で対応。

Q 他の自治体で小学校高学年の女子児童が男性医師に対して上半身裸で受診させられた件が報道された。岡谷市での運用は？

A 男女別の部屋、診察時も囲いの中で着衣のままとするなど、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮。

市民生活における

物価上昇の影響について

Q 物価上昇による生活困窮の相談は？

A やりくりが難しくなった、支払い

が滞っているなどの相談が多い。

Q 生活困窮の相談の対応は？

A 生活就労支援センター「まいさば岡谷市」を設置。家計状況を可視化して根本的な課題を把握し、助言、必要に応じて就労支援。

Q 生活保護の状況は？

A 減少傾向。申請前に基準を満たしていないことがわかった等申請に至らなかった例はあるが、申請者は保護に至っている。

Q 生活保護費は充分か？

A 生活扶助費は令和5年10月に見直しが行われたが、臨時的・特例的な措置が実施されている。

Q 生活保護の今後の見込みは？

A 厚生労働省の発表では国全体としては増加。相談の増加を想定し、丁寧な対応を心掛けたい。



健康診断

Q 病院事業会計未処理欠損金約20億円の処理方針について

A 病院事業会計の令和4年度末繰越欠損金の額は、約19億8500万円であった。令和元年度の約27億500万円との比較では、7億2000万円の減となっている。



藤森 弘



院患者を受け入れたほか、感染拡大を繰り返す中で一般診療も継続して行いながら、検査・診療体制の充実を図るなど、地域における感染症医療の中心的役割を担って来た。

病院の経営状況は、この繰越欠損金だけによって判断されるものではないが、「安定した病院経営」が繰越欠損金の減少に繋がるものと考えているので、今後においても「安定した病院経営」に向けて、病院経営の向上を目的とした「岡谷市病院運営会議」の開催など、病院と市が協議を行いながら、引き続き必要に応じて支援をしていきたい。

Q 未処理金の元となった新病院建設時の固定資産除却費用(約21億2600万円)が発生した平成27年から9年が経過している。新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金が交付された平成3年(3億9274万円余)と平成4年(4億2387万円)にかけて大きく減らすことができ、やっと20億円を割ったのも束の間、3月定例会で報告された令和5年度岡谷市立病院事業予算損益計算書によると、純損失が8760万円の見込みで、再び20億円を上回ってしまった。未処理金がわずかしかなかった現状をどう認識しているのか。

A 岡谷市民病院は、市民の生命と健康を守る市民病院として、幅広い医療を提供するとともに、地域医療においても重要な役割を担う医療機関でもある。特に、新型コロナウイルス感染症への対応では、発生当初から入



岡谷市民病院

Q 市長の任期は4年、この間に給食費無料化を

A 4年の中(任期の内)で、しっかりやっていきたい。



笠原 征三郎



Q 早出市長の目玉公約「小中学校の給食費無料化財源を理由にやる。やらないの問題でなく、首長選挙の公約であるからには、いつやるのか、これが問われている。

A 学校給食の無料化を実行していくには、恒久的な大きな財源が伴う。財源確保の必要性についても同時に訴えてきた。

Q 首長選挙の公約である以上、財源についてもこれなら公約として行ける」として、公約を掲げたのではないが。

A 国の子育て支援の予算が打ち出されていたことに期待をした。

Q 市長の公約は、2期目、3期目の公約ではない。100歩も200歩譲ってお聞きするが、1期目の内にこの公約は実現すべきだ。

A 4年の中(任期の内)で、しっかりやっていきたい。

マイナバーカードと

健康保険証の一体化

Q 厚生労働省は、マイナ保険証の利用率があまりにも低いため、各種取り組みをおこなっている。

岡谷市民病院では、この厚生労働省の要請を受け、どのような対応をされているか。

A 岡谷市民病院では、国の要請を受けて、正面ロビーに「ポスター」を掲示している。

保険証については、従来の保険証を含めて、患者さんの自由な選択により提示していただいている。

Q 岡谷市(長野県)のマイナ保険証の利用率は?

A 長野県の利用率は、3月時点で、45.9%となっている。

Q 制度移行に伴い、国民健康保険で発行している「短期被保険者証」の取り扱い?

A 「短期被保険者証」は廃止される。



患者さんの窓口

Q 諏訪湖と諏訪湖周の活用

A 諏訪湖創生ビジョンの20年後の将来像実現に向けて取り組む



中島 秀明



Q 諏訪湖周を地域資源とした活用

A 諏訪湖創生ビジョン推進会議で、水質保全、生態系保全、湖辺面活用・まちづくり、調査研究・学びの推進の四分野について関係機関、各種団体と連携して推進しており、諏訪六市町村による諏訪広域連合の枠組みで諏訪湖創生ビジョンの将来像の実現に取り組んでいる。

※諏訪湖と湖周の活用は、湖周の二市一町の枠組み（定住自立圏等）や下諏訪町との連携が不可欠であり、将来像の実現には、それらの枠組みでの推進が必要なのでは？

サイクリングロード整備状況

Q サイクリングロード関連の状況

A 平成31年策定の諏訪湖周自転車活用推進計画に沿って、県と湖周二市一町で分担して整備を進め、今年四月一日に全線開通した。関連設備については、駐輪スペース、サイクルスタンド、案内看板等の



サイクリングロード

設置や、湖周二箇所のスワレイクサイドオアシスの本市分の諏訪湖ハイツと湖畔公園の二箇所は完成している他、湖畔公園の塚間川西側のトイレ改修も完了しており、ほぼ計画通りに整備をしている。

カバンの重さと教材持ち帰り

Q 学校教材の家庭への持ち帰り

A 持ち帰る教材は、国語、算数、学習ドリル等で、その他は学校に置く様にしている。また、軽量の布カバンを以前から使用しており、現状では問題になっていない。端末やデジタル教科書等の整備も今後は進むことからカバンの重さ軽減にも繋がることを期待している。

Q 本年度より開始される平和体験事業で「満蒙開拓平和記念館」を選んだ想いや経緯は？

A 小学生の時から戦争の悲惨さと命や平和の大切さを実地で学ぶきっかけとしたい。選定理由は、コロナ禍で広島県の代替事業として訪問した際の先生の評価が高かったため。



秋山 良治



Q 担当の先生への研修・講習の進め方は？

A 満蒙開拓平和記念館から事前に学習用DVD等を取り寄せ、先生方自身も教材研究を行う。

Q 児童への事前・事後学習についての進め方は？

A 事前学習時間を設け、課題を持って訪問する。訪問後は感想などの振り返りや社会科で、さらに詳しく調べたり学んだことをまとめる。

Q 次年度以降の考えは？

A 本年度の成果を見ながら来年度以降も継続したい。

Q 平和教育で、どのような人間に育って欲しい？

A 平和を思ふ心、他者を敬う道徳心、心の強さしなやかさを持った大人に育って欲しい。

学校教育について

Q 「岡谷市魅力と活力ある学校づくり」

くり推進プラン」前期5か年の成果と課題は？

A 感染症対策が契機となり1人1台端末の導入が進んだ。少子化・人口減少が進む社会を見据えた学校教育の推進や教育DXの推進などの検証を行っている。

Q 目標数値の達成が22項目に対しての2項目だったのが？

A 感染症の影響で思うように活動ができなかったが、概ね6割の指標で上昇したこと、概ね良好な成果と評価した。

Q 将来の岡谷市を担う人材を育てることが重要だと思うが？

A 「生き抜く力と創造力、知的好奇心に溢れる心豊かなひとづくり」が本市の学校教育の理念の基、確かな教育を提供していく。



満蒙開拓平和記念館

Q 岡谷市における熱中症被害への主な対策は？

A ホームページや広報おかわで周知啓発を行ったほか、熱中症警戒アラートについてメール配信@おかわ等で市民に注意喚起を行った。また、公共施設へのエアコンの整備を進めてきている。



吉田 浩



Q 昨年度の岡谷市における熱中症被害の状況は？

A 諏訪広域消防によると、令和5年度の岡谷市の熱中症による搬送は18名であり、年代別では10代が3名、30代から50代が計4名、60代が1名、70代以上が計10名で、高齢の方が多く搬送されている状況。傷病の程度は、軽傷12名、中傷5名、重症1名。

Q 昨年度の熱中症警戒アラートの回数は？

A 県に対し計13回発表があった。

Q 今年度より「熱中症特別警戒アラート」の運用開始にあたり県内でも長野市や塩尻市において指定されている「フリーリングシェルター」についての岡谷市のお考えは？

A 過去に例のない危険な暑さにより健康に重大な被害が生じる恐れがある場合、「熱中症特別警戒アラート」が発表されることになったが、アラート発表時、全ての人が自ら涼しい環境で過ごすとともに、イベント主催者は参加者が熱中症対策を徹底できていないと判断した場合は、イベント等の中止など判断するなど、災害級の危険な暑さへの最大限の予防行動が求められる。「フリーリングシェルター」はこの熱中症特別警戒アラートが発表された際、市民が暑さから身を守るための場所として、事前に市町村が指定する避難場所となる。「フリーリングシェルター」は冷房施設を有しており、市民が滞在できる適切な空間の確保が条件となるが、他自治体の状況等を参考にしながら、まずは公共施設から検討を始めたいと考えている。



熱中症には気をつけよう!

令和6年第3回定例会

主な議案の審査
審議結果

令和6年6月13日(木)から6月25日(火)までの13日間の会期で開かれ、報告案件13件、議案14件、請願1件が審査・審議されました。主な審査・審議結果は次のとおりです。

◆議案第48号

岡谷市下水道条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明(議案の内容)

現行条例において、指定工事店は、営業所ごとに排水設備工事責任技術者を専属させることを義務付けているが、デジタル技術を活用の上、専属する要件の緩和及び一定の区域内での兼任について可能とするものである。

◆産業建設委員会での質疑応答

Q 改正の背景は？

A 少子高齢化により、現場に人手不足が生じていることから、デジタル技術の活用により、生産性の向上と人手不足解消の効果を見込んでおり、国においてアナログ規制の見直しを進めている。

Q 今回の改正の主旨について、人員の削減なのか、業務の効率化なのか。

A 下水道排水設備指定工事店の事業所ごとに一人専属させなければいけないという規制から、他の事業所との兼務が可能となるため、

人員配置の緩和が図られ、業務の効率化等につながるものである。

※産業建設委員会において原案通り可決し、その後本会議において委員長報告ののち、審議し全会一致で可決。

◆議案第51号

令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)

本会議での提案説明(議案の内容)

今回の補正予算は、国の物価高騰に伴う経済対策として実施する定額減税補足給付金給付事業、ハザードマップ更新委託料、不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業、新型コロナウイルスの定期接種に伴う予防接種事業費などに必要な経費、総額5億4105万2千円を追加するものである。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会に審査付託されました。

◆総務委員会での質疑応答

Q ハザードマップの更新事業の内容及び配布方法と配布時期は？

A GISのデータ更新、防災ガイドのデータ修正等を行い2万5千部を印刷し、広報おかやにあわせ各戸配布を予定しており、危機管理室ほか公共施設の窓口等にも設置し、配布時期については、令和7年4月を予定している。

Q 配置する「多様な学び支援コーディネーター」の主な役割は？

A 各学校を巡回して出向き、学校の現状の把握や、どのような支援が必要かなど、主に先生への助言等、出向いた学校でコーディネーターを行う。

◆社会委員会での質疑応答

Q 物価高騰重点支援事業の該当世帯は？

A 個人住民税非課税世帯が600世帯、均等割のみ課税世帯が300世帯を見込み、1世帯当たり10万円を給付する。また、18歳以下の児童について、個人住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯について、55世帯、110人分を見込み、児童1人当たり5万円を給付する。

Q 新型コロナウイルス接種の1人あたりの個人負担は？

A 対象は65歳以上又は60歳から65

歳未満の方で厚生労働省令に定めるものに該当する方であり、接種の際の自己負担分として、現在諏訪6市町村で調整中であるが、1人あたり3200円を見込んでいます。

【要望】 最終的に接種の判断するのは個人となっているため、全ての人が接種後に後悔することがないように、市としても有害事象等の情報も含め、最大限の発信に努めてほしい。市民の健康といのちを守るために慎重に事業をすすめて頂きたい。との要望がありました。

※質疑の後、討論裁決が行われ、それぞれ委員会では原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

※審議の結果全会一致で可決されました。

各議案に対する議員の採決態度については、ホームページをご覧ください。



ホームページ

<http://www.city.okaya.lg.jp/okayashigikai/>

○令和6年 第3回定例会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第5号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	報告第17号	令和5年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例の一部を改正する条例)	議案第46号	岡谷市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	議案第47号	岡谷健康福祉施設条例の一部を改正する条例
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	議案第48号	岡谷市下水道条例の一部を改正する条例
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第18号))	議案第49号	工事請負契約について
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第1号))	議案第50号	財産の取得について
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第2号))	議案第51号	令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市病院事業会計補正予算(第1号))	議案第53号	令和6年度岡谷市病院事業会計補正予算(第2号)
報告第13号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第54号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書
報告第14号	令和5年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	議案第55号	さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める意見書
報告第15号	令和5年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	議案第56号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書
報告第16号	令和5年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書(事故繰越)について		

○令和6年 第3回定例会(賛否が分かれた議案等一覧)

議案番号	件名	今井 康善	秋山 良治	土橋 学	花岡 健一郎	山崎 仁	小松 社弘	藤森 香二	宇野 香二	酒井 和彦	上田 澄子	早出 淳子	今井 浩一	渡辺 太郎	吉田 浩	中島 秀明	笠原 征三郎	丸山 善行
議案第45号	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
議案第52号	令和6年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
請願第3号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	議長	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	-	-	-	趣	趣	趣	趣	-	趣
議案第57号	現行の健康保険証の存続を求める意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
議案第58号	緊急避妊薬に対するアクセス改善を求める意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

議長は議長職のため採決に加わらない

○：賛成 ×：反対 趣…趣旨採択。請願の趣旨について採択する決定方法。

○令和6年 第3回定例会(陳情の審査結果)

陳情番号	件名	付議委員会	審査結果
陳情第34号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	総務委員会	採択
陳情第35号	さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める陳情書	総務委員会	採択
陳情第36号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	総務委員会	採択

ご意見・ご要望

市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けいたしますので、下記までお寄せください。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL23-4811 (内線1711) FAX22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp

今号の特集にもありますように各議員の公約を掲載したマニフェストスイッチの公開が始まりました。公約に限らず議員の活動内容や議会の様子を市民の皆様にご覧いただく機会を、この「議会」のひろばに設けたいと考えています。今後市民の皆様にご意見をいただきながら、分かりやすく正確な情報の提供を心がけ取り組んで参ります。

(吉田浩)

編集後記

岡谷市
今昔物語

故きを温ねて
新しきを知る

みんなと歩んだ100年

現在レイクウォーク岡谷があるところは、諏訪倉庫の「塚間倉庫」がありました。塚間倉庫は明治42年から大正4年にかけて建設されたもので、昭和50年に取り壊しを開始し、昭和56年12月24日に取り壊しを完了しました。その後、ショッピングセンター「ピア・アピタ岡谷店」に。

写真提供：諏訪倉庫株式会社



かつての写真
レイクウォーク岡谷がある場所はかつて倉庫群でした



現在の写真
レイクウォーク岡谷の周辺も昔とは違う雰囲気に

YouTube 岡谷市公式チャンネル 令和6年第3回定例会 一般質問が視聴できます

1 岡谷市のごみの現状 2 市内企業における人材確保 3 市内の山林に出没する熊への対策 田村みどり 議員	1 蚕糸公園の今後の活用 2 諏訪湖環境研究センターの活用 3 岡谷市民病院 土橋 学 議員	1 岡谷市自殺対策計画 2 空飛ぶクルマなど未来に向けた取り組み 3 安全対策の推進 渡辺 太郎 議員	1 高齢者福祉の充実 2 地域公共交通の今後の取り組み 3 公共施設の統廃合 宇野 香二 議員
1 温暖化防止の取り組み 2 暑さ対策における冷房器具購入補助 3 令和6年度能登半島地震の教訓から、岡谷市の震災対策の強化 上田 澄子 議員	1 特別支援が必要な子どもたちへの支援体制 2 おかやシェアオフィスの現状 3 特殊詐欺被害の現状 丸山 善行 議員	1 信州型フリースクール認証制度 2 岡谷市の水道事業 今井 浩一 議員	1 諏訪湖の水辺の有効利用 山崎 仁 議員
1 平和 2 訪問介護報酬引き下げの影響について 早出 すみ子 議員	1 安心安全な道路整備 2 有害鳥獣被害に対する農業者への支援策 花岡健一郎 議員	1 小中学校の健康診断 2 市民生活における物価上昇の影響 酒井 和彦 議員	1 小口太郎の没後100年顕彰企画 2 カラホールにおける「分煙」 3 病院事業会計未処理欠損金約20億の処理方針 4 「都市宣言」の現状 藤森 弘 議員
1 マイナンバーカードと健康保険証の一本化 2 早出市長の公約である「小中学校給食費の無料化」 笠原征三郎 議員	1 諏訪湖と諏訪湖周の活用 2 学校教材の持ち帰り 中島 秀明 議員	1 平和体験研修事業と学校教育 2 諏訪湖サイクリングロード活用推進事業におけるモニュメントの設置 秋山 良治 議員	1 岡谷市における子育て支援と相談窓口 2 岡谷市における鳥獣対策 3 岡谷市の熱中症対策 吉田 浩 議員

議会広報広聴委員会

●委員長：小松 壮 ●副委員長：早出 すみ子
●委員：宇野 香二・今井 浩一・渡辺 太郎・吉田 浩・山崎 仁